



御所窪翔太ちゃん

大谷、御所窪秀一・澄子さんの長男＝1歳



落合 幸輝ちゃん

国分北、落合良幸・明美さんの長男＝1歳



小野の 愛紗ちゃん(右) 莉愛ちゃん(左)

上今泉、小野孝太郎・香織さんの長女(莉愛)、2女(愛紗)＝1歳



二瓶 泰樹ちゃん

門沢橋、二瓶瑞久・久美子さんの2男＝1歳2カ月



池田 悠人ちゃん

東柏ケ谷、池田晋一・訓子さんの月男＝1歳1カ月



橋本 晴生ちゃん

中河内、橋本順一・一枝さんの長男＝1歳1カ月



田原奈津美ちゃん

望地、田原弘一・和美さんの長女＝1歳1カ月

まんまる赤ちゃん

このコーナーに掲載を希望する方は電話で広報広聴課へ。対象は、申込時点で満9カ月未満の赤ちゃんに限りますので、お早めにどうぞ。応募多数の場合は抽選のうえ掲載します。



夏空の下「ふれあい農業」

7月7日、本郷地区でふれあい農業「土の日・とうもろこしのもぎ取り」が行われました。親子連れなど200人が夏空の下、もぎとりを楽しみました。



お香でゆったり

高齢者趣味の教室「お香を楽しむ」が開催中(受講者は決定済み)。参加者15人が、かぐわしいお香を聞いて、ゆったりとしたひとときを過ごしています。



児童がプランター寄贈

7月18日、大谷小学校(志澤國男校長の3年生108人が、海老名警察署、消防署などに「4年生になったら見学させてください」と、自分たちが総合学習で育てたマリーゴールドなどのプランターを贈りました。



14分団成果を競う

7月14日海老名市消防操法大会が開催されました。14の分団が日ごろの訓練の成果を競い合い、最優秀賞には、第10分団(上河内・杉久保地区担当)が選ばれました。(撮影)広報まちかどカメラマン・桜井 昭

楽しい仲間

相州海老名東柏太鼓



「第6回 日本太鼓全国フェスティバル」に出場

地道に『本物』追求

サッカーワールドカップ(W杯)が終わってはや1カ月。この決勝戦前日(6月26日)にW杯記念文化催事として、「第6回日本太鼓全国フェスティバル」が、かながわドームシアターで開催され、全国から選りすぐられた12チームが、競演を繰り広げました。日本太鼓は、郷土を代表する伝統芸能として、また創意工夫が施されて地域の新しい文化として各地で活動が活発で、その数は全国で800団体を上回ります。その一つとして出演したのが「相州海老名東柏太鼓(島田健次会長)」です。

会員数は、少年部・青年部合わせておよそ50人、練習は週1回。「普段は自分の仕事をしつかり。太鼓は生活の一部だが、けじめをつけて」がモットーです。技術を高めるためには「優れたチームの演奏を数多くみることが大切。各地で行われるコンクールに参加して、自分たちがどのレベルにいるのか確認しています」と神奈川県太鼓連合理事長も務める島田会長。練習以外では、きちんとあいさつをすることを、厳しく言っているそうです。

「だれが見ても日本一」という精鋭ばかりが出演した今回のフェスティバルには「1月に出演が決まり、練習を重ねてきました。サッカー観戦どころではなかった。当日は質の高い日本太鼓の演奏を見慣れた観客が多く、出番では、演奏の見せ場で普段ならもらえないはずの拍手が、なかなか起こらなかったそうです。「つまり、彼らから拍手をもらえたら本物だということ。メンバーには今後、よその真似でない『本物』を目指して、一人ひとりが工夫してほしい、と伝えました。早速いろいろ考え始めたようです」。

「これからも今までどおり前向きに、海老名を大切に、謙虚さを忘れず活動していきます」と島田会長。大舞台の直後でも、あくまで地道に『本物』を追求しています。 ※入会についての問い合わせは、島田健次さん(☎233・1697)へ。

蛭間さんからは、昔の下今泉の様子もいろいろ聞きました。自宅近くの相模線には蒸気機関車が引く列車が走り、夏になるとそれに

編集後記

乗って茅ヶ崎へ海水浴に出かけたそうです。海水浴か...もう長いことしていないなあ。この夏、みなさんは海に行かれますか?(康)